

16回線で月1万円の格安サービス登場 加入者間無料・固定-携帯も1分20円

固定電話発着携帯電話着の通話料割引サービス「携得コール」を展開してきた第二種通信事業者の日本テレネットが、IP電話事業に乗り出した。新サービス「IPPhase」は、IP網のメリットをフルに生かした安価で利便性の高いメニューが充実している。

日本テレネットが8月4日から開始した「IPPhase」(アイフェイス)は、専用のゲートウェイアダプターを導入するだけで、既設の電話システムも電話番号も変更することなく利用できる企業向けのIP電話サービスだ。

現在、標準サービスとして次の2メニューを提供している。

IP携得コール: 固定電話発着携帯電話着の通話料金を1分20円(30秒未満の通話は10円)で提供

拠点間外線通話サービス: IPPhase加入者同士の通話が無料

利用者側の拠点に設置されるゲートウェイアダプターは1台でアナログ×16回線またはINS1500×1回線を収容し、16チャンネルまで同時通話が可能。

利用料金は、アダプター1台につき加入事務手数料5000円の初期費用

と、月額基本料が1万円。この中にはゲートウェイアダプター利用料だけでなく、日本テレネット指定の標準回線(イー・アクセスのADSL8Mbpsタイプ1)の料金も含まれる。さらに同社では、IP携得コールを月5万円以上利用すれば基本料が半額となるボリュームディスカウントも設けている。

こうした安価なサービス内容に加えて、この10月からは利便性をより高める2つの付加メニューも提供される。

まず、携帯発・固定着の着信者負担通話サービス。着信者課金用番号4桁+加入者番号6桁の電話番号を付与し、携帯電話からIPPhase利用者への通話を着信者側料金1分20円で提供する。日本テレネット・取締役営業企画部長の遠山善晴氏は、「一般的な着信者課金サービスに比

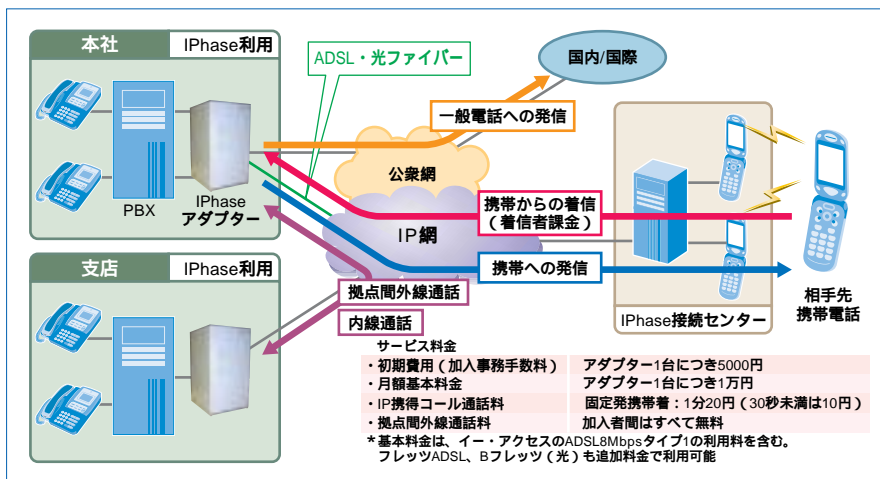
べ約50%のコストで済みます。社員からの連絡を会社負担で受ける仕組みとしてだけでなく、コールセンターなどの顧客問い合わせ業務でも活用できるでしょう」と説明する。

もう一つは、加入者同士での無料通話を、通常の外線電話番号ではなく内線番号により個別に呼び出すことを可能とするサービスを開始する。「1拠点で1000内線まで番号を割り振れるようにしていますから、規模の大きな事業所にも対応できます」(遠山取締役)という。

さらに年内には、一般電話との相互接続による国内3分8円や安価な国際通話もメニューに加える予定だ。

日本テレネットでは、まずは従来からの携得コールを利用している約11万加入・2万企業へのアプローチに加え、「専用線に代わるサービスとしての大きなコストメリットをアピールしていきます」(遠山取締役)という。そして、今後の拡販に向けて、PBX・ビジネスホンの販売・工事会社を中心に、「IPPhase」のビジネスパートナーも広く募っていく考えだ。

「IPPhase」のサービス概要



お問い合わせ先

Communication Provider
日本テレネット株式会社

愛知県名古屋市中村区名駅3-25-3 大橋ビル10階
TEL : 052-566-5556、0120-874-441
E-mail : info@n-telenet.co.jp
URL : http://www.n-telenet.co.jp